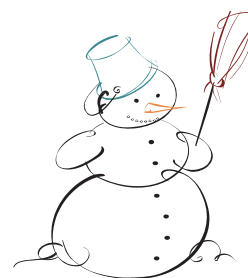


○インスペクターからのコメント（66回）

今日は大変な雪になってしまい、残念でしたね。今、非常に複雑な状況になっていますが、私たちは、道路をつくるにあたって、環境に配慮することを目標にして今までやってきましたし、今後も工事を継続するか否か、その次をどうするかが決まるまでは、我々のできることを努力してやっていきましょう。

大竹
インスペクター

雪のため、フィールドワークが中止に!!



～ 施工ワーキング小屋から見た外のようす ～

◇ 小屋の日の活動

ワーキング当日は雪のためフィールドワークが出来なかったため、小屋の日（1月25日）を使って、萌芽更新木の剪定や、根株移植したサクラの定期観測、シェルター構造上部の草刈りをしました。

根株移植したサクラの定期観測



萌芽更新木の剪定

アラカシ剪定前



アラカシ剪定後



シェルター構造上部の草刈



3月は、今回草刈をした場所に、苗木を植栽します。

今後は、マルチングなどの対策も考えていきます。

コナラ

昨年の剪定以降、新たな萌芽枝がなかったため、今年は剪定しませんでした。



問い合わせ先

名古屋市 緑政土木局 道路部 道路建設課内 「環境に配慮した道づくり」施工ワーキング事務局
〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話：052-972-2865 FAX：052-972-4168
<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-7-0-0-0-0-0-0-0.html>
(平成22年10月1日より名古屋市HPがリニューアルされアドレスが変更になっています。)

「環境に配慮した道づくり」施工ワーキングだより 第52号

施工ワーキングのススメ



●第66回施工ワーキング

平成23年1月16日（日）に第66回施工ワーキングを開催し、20名が参加しました。

今回は事務局から、平成22年2月から6回に渡って行われた学術検証委員会の内容と現在の状況について報告がありました。前回議題に挙がった散策路のあり方についても話し合いました。

また今回は、「学びの時間」として、大竹インスペクターのお話を聴きました。

当日は、午前中から雪が降り出し、後半に予定していたグループ活動は実施できず、帰路の安全確保のため、施工ワーキングは午前中で終了しました。施工ワーキングが天候不良により、半日にしろ中止になったのは、第66回にして初めてのことです。

第66回 プログラム

1. 前回（65回）の確認
2. 事務局からのお知らせ
 - 2-1. 相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会について
 - 2-2. 散策路の考え方について
3. 学びの時間

◇ 学びの時間

大竹インスペクターより、里山の管理を含めた森に関する事柄についてのお話を聴きました。先生の長年の経験にもとづく自然との付き合い方、ものの見方など視野の広がるお話ばかりでした。



自然と向き合うには、永い年月が必要なんですね。

一歩ひいて森全体をみる、あるいは起きている出来事全体に目を向けると見えてくるものもあるんですね。



ヒメボタルってまだまだ分からないことがたくさんあるんだね。

◇ 散策路のあり方

散策路のあり方について、意見を出し合いました。散策ルートとしての利便性をとるか、水みちが踏み固められないように散策路を変更するか、利用者と管理者では目指すところが異なります。また現在工事途中の段階で、最終的な現地の状況も考慮する必要があり、なかなか折り合いが付かない難しい問題です。次回は全員で現地の状況を確認し、具体的な方策を話し合います。

